

留学しなくても、地元で出来る

辞書を減多に使わない「考える」英語

「体を動かして身に着ける」英語

すすき野留学

(Susukono hometown)



044-989-1698

utokyu corporation **with namaste everbody**

どうやったら話せるか？の前になぜ話せないんだろう？から考えてみましょう。

1. 平均台（いきなり完璧）

間違ったら一環の終わり



いきなり国際会議で演説レベルを？



体育館の片隅で

2. 時間内（受験、就職）

早く、早く、正確に、間違えないように



3. 困らない（日本語だけで）

生活できる



4. 目線（前より後ろ、外国人より日本人）

敵前逃亡「恥」



子供は恥と外聞がないから、言葉を早く覚えるのかもしれませんが。

A. 目的を変えてみよう

目的を、語学習得からコミュニケーションに変えると、語学はコミュニケーション手段の一つでしかないことがわかってきます。



**B. 新しく単語を覚えるより、
今知っている単語を組み合わせて使おう。**

皆さんは知っている単語の数では、アジアの国々の中では、相当上です。

なのに、まだ覚えようとする。単語の数が喋れる必須条件だとみなして。それは、日本語は細かく細分化していて、無意識にそう思うからです。

しかし、それに合わせた単語を覚えるのは大変。

ジャストではなくていいので、まずは大体言いたいことのキーワードを決めて、それを絵で思い浮かべてみましょう。

後は、それを知っている単語を組み合わせて、その絵の説明をしてみましょう。



イディオム（慣用句）も新しい単語も使わずに。

C. 街が辞書、そして語幹を以て派生語をどんどん作りだそう。

接頭語 接尾語 対語



NO PARKING

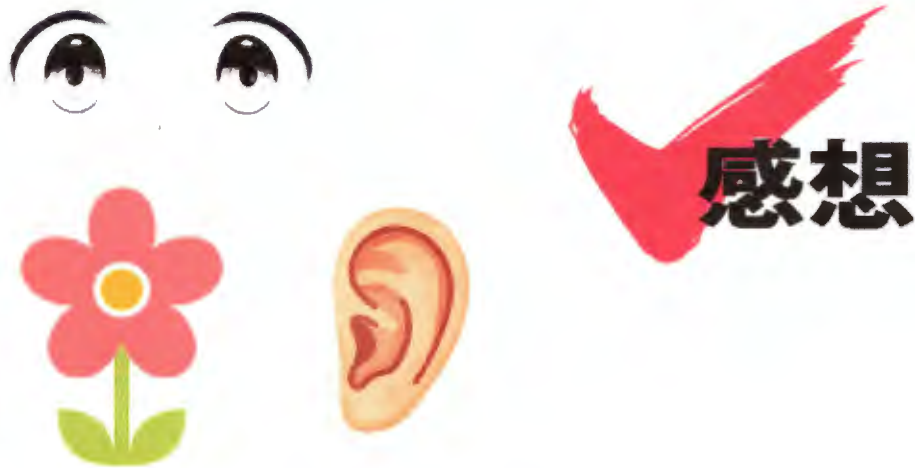
駐車禁止

NO PARKING

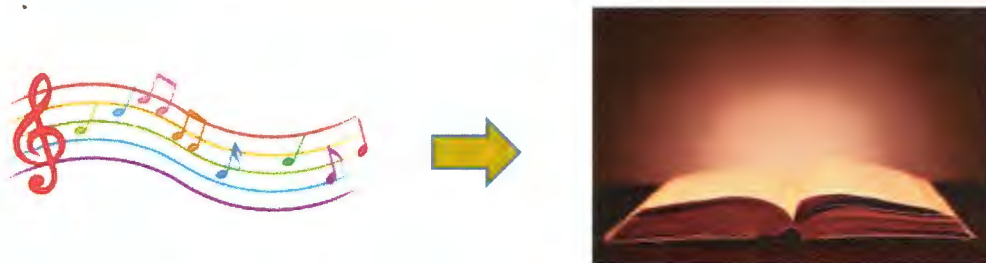


D-1 物事や事物に感想を持つ。一人芝居をしてみよう。

感想を持ったり、それを体を動かして表現すると、とても印象に残り、思い出しやすい (=覚えやすい)



D-2 言葉の始まりは音。話しやすい音の集大成が文法。しゃべりやすい音の並びが文法的に正しい場合が多い。迷ったらしゃべりやすい方を。



D-3 言葉の意味よりイメージやシーンを記憶しよう。抽象的な単語は具体的な物を使って表現しよう。

Severe condition
(厳しい状況です)



I'm walking on the tight rope

E. 失敗しないと上達しない / 失敗こそ「お宝」

(スポーツの例と外国の人の考え方を参考にしてみよう)



Try and error, error and try
That`s all
It`s the only way to get in success

トライ&エラー、エラー&トライ
それだけ
成功への道はそれだけだよ